

厚生労働科学研究費補助金・厚生労働行政推進調査事業費補助金
(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)(分担) 研究報告書

成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの強化のための研究
三重県における侵襲性細菌感染症サーベイランス

研究分担者 三重県立一志病院 丸山貴也

研究要旨：人口ベースで成人の侵襲性細菌感染症を評価する体制を構築することで罹患率が算定でき、その特徴を解析することで、より適切な治療、予防を確立することができる。

A. 研究目的

1. 三重県の医療機関で発症した成人の侵襲性細菌感染症を評価する体制を構築する。
2. IPD, IHD, STSS, IMD と診断された症例の患者情報と菌株を収集し、感染症研究所で莢膜型、遺伝子型、薬剤感受性などを精査する。

B. 研究方法

1. 三重県の基幹定点医療機関 9 施設 + 1 施設については保健環境研究所で菌株、患者情報を一括して収集し、国立感染症研究所へ送付する。
2. それ以外の医療機関については、三重県立一志病院で菌株を収集し、国立感染症研究所へ送付する。

(倫理面への配慮) 本研究では、必要な検体は研究参加前に採取、保存されている菌株を用いるため、予想される不利益は少ないものと考えられる。

C. 研究結果

三重県在住者では、令和 5 年度は IPD 14 例、IHD 6 例、STSS 18 例が集積された。今年度の IPD 莢膜型は 11A/E: 2 例, 3 型: 1 例, 10A: 1 例が検出された。肺炎球菌ワクチンのカバー率は PCV13: 9.1%、PPSV23: 50%であった。

D. 考察

令和 4 年度 IPD 14 例、IHD 3 例、STSS 1 例と比較して症例数は増加しており、COVID-19 に対する感染対策の緩和が影響しているものと推察される。

E. 結論

調査に協力していただけなかった医療機関は無く、良好な関係が築けて

いると考える。今後も引き続き行政と連携をとり、菌株と臨床情報の収集につとめる。

F. 健康危険情報

該当無し

G. 研究発表

1. 論文発表

該当無し

2. 学会発表

1)丸山貴也、シンポジウム「肺炎診療の展望 新たなガイドラインを踏まえて 何がどう変わる？」 肺炎の予防 ワクチンを含む予防戦略について、-第 63 回日本呼吸器学会学術講演会

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

該当無し

2. 実用新案登録

該当無し

3.その他